

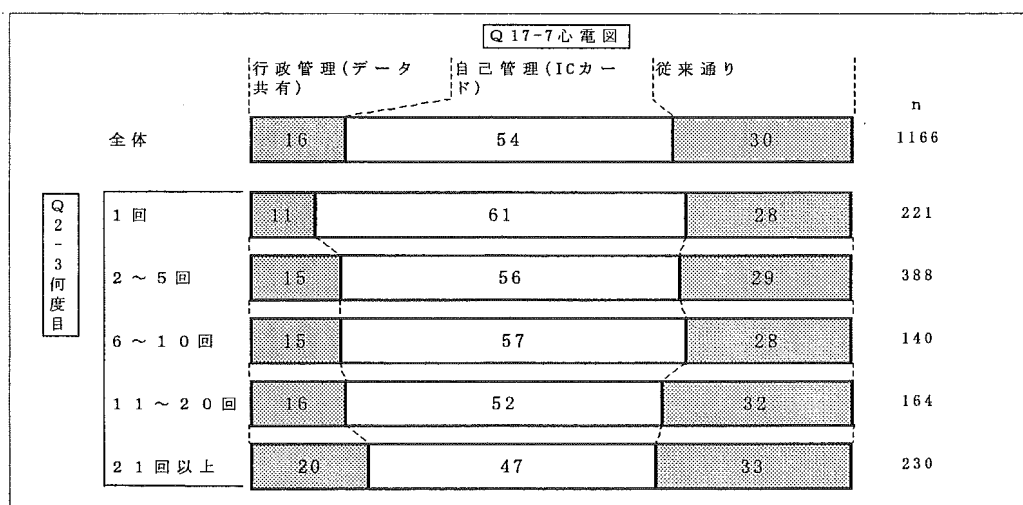
問 2-3「その病院に行くのが何回目ですか」と問 17-7「どのように心電図の情報を管理した
 いか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように自分の心電図の情報を管理したいですか」

		合計	Q17-7心電図			
			行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	158 15.7	544 54.0	305 30.3	159
Q 2 3 何 度 目	1 回	221 100.0	21 11.1	115 60.8	53 28.0	32
	2 ~ 5 回	388 100.0	50 15.4	181 55.7	94 28.9	63
	6 ~ 10 回	140 100.0	18 14.5	71 57.3	35 28.2	16
	11 ~ 20 回	164 100.0	22 15.6	74 52.5	45 31.9	23
	21 回以上	230 100.0	42 20.3	96 46.4	69 33.3	23



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者は心電図の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということと、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。

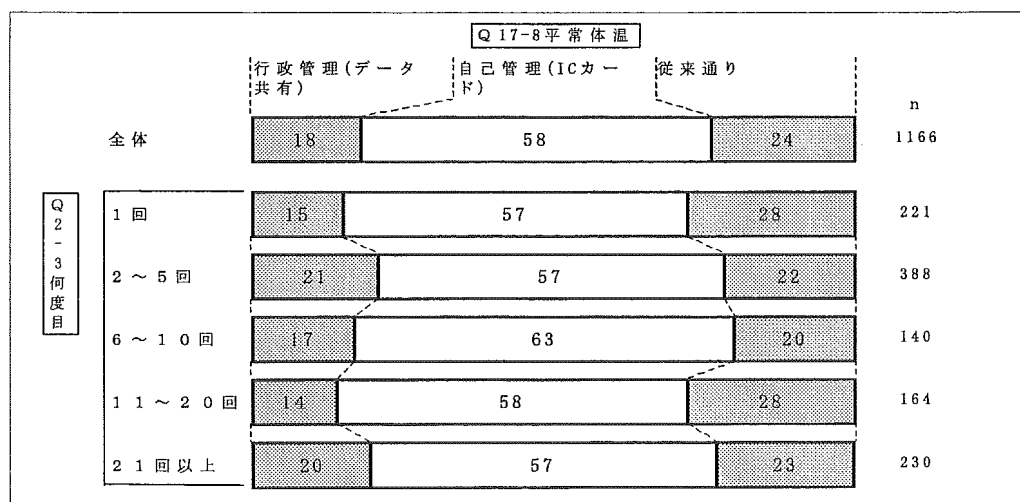
問 2-3 「その病院に行くのが何回目ですか」と問 17-8 「どのように平常体温の情報を管理したいか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように自分の平常体温の情報を管理したいですか」

		合計	Q 17-8 平常体温			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	183 18.1	580 57.5	246 24.4	157
Q 2 3 何 度 目	1 回	221 100.0	29 15.3	107 56.3	54 28.4	31
	2 ~ 5 回	388 100.0	67 20.6	186 57.2	72 22.2	63
	6 ~ 10 回	140 100.0	21 16.9	78 62.9	25 20.2	16
	11 ~ 20 回	164 100.0	20 14.2	82 58.2	39 27.7	23
	21 回以上	230 100.0	41 19.7	119 57.2	48 23.1	22



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者は平常体温の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということと、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。

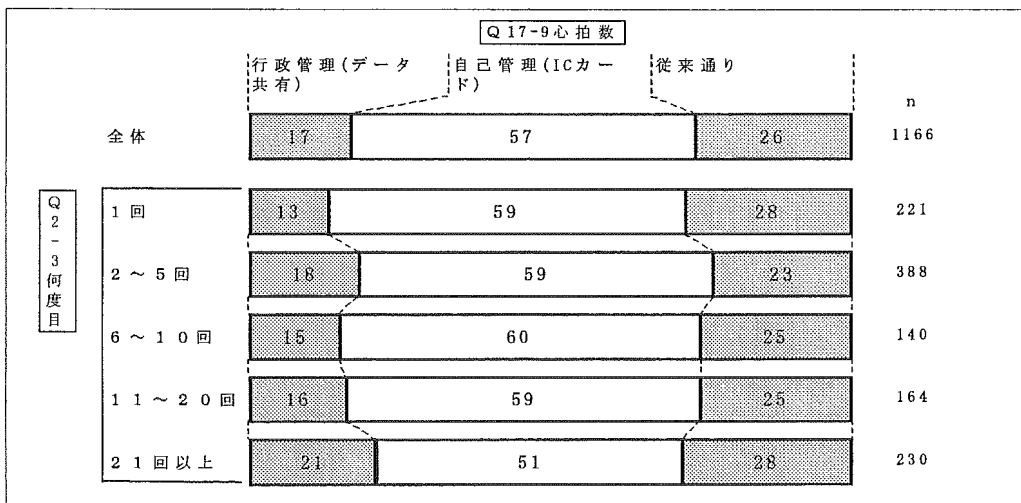
問 2-3「その病院に行くのが何回目ですか」と問 17-9「どのように心拍数の情報を管理した
 いか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように自分の心拍数の情報を管理したいか」

		合計	Q17-9心拍数			
			行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	170 16.9	578 57.3	260 25.8	158
Q 2 3 何 度 目	1 回	221 100.0	24 12.6	112 58.9	54 28.4	31
	2 ~ 5 回	388 100.0	57 17.5	193 59.4	75 23.1	63
	6 ~ 10 回	140 100.0	18 14.5	75 60.5	31 25.0	16
	11 ~ 20 回	164 100.0	22 15.7	83 59.3	35 25.0	24
	21 回以上	230 100.0	44 21.2	106 51.0	58 27.9	22



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者は心拍数の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということと、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。

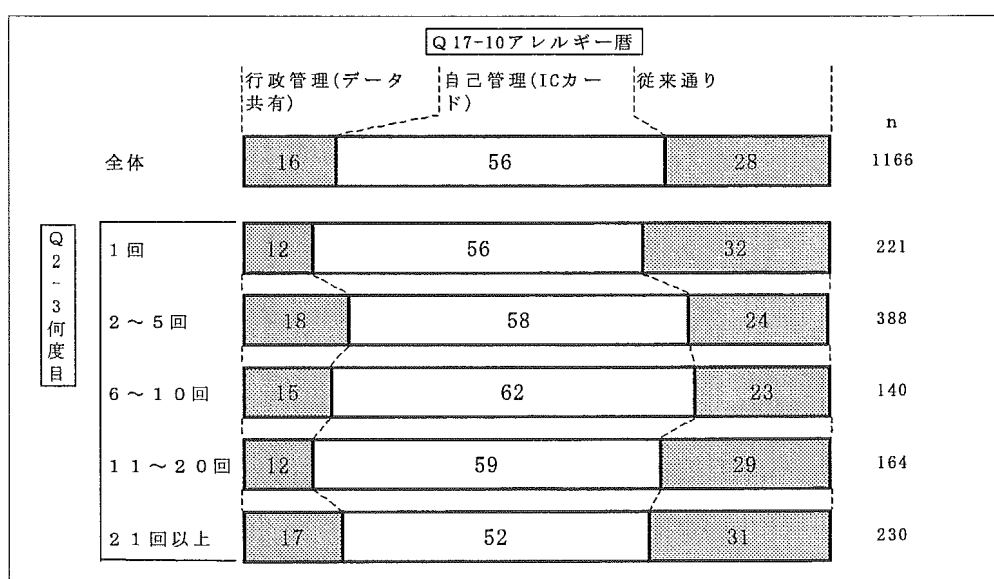
問 2-3 「その病院に行くのが何回目ですか」と問 17-10 「どのようにアレルギー量の情報を管理したいか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように自分のアレルギー量の情報を管理したいですか」

		合計	Q17-10アレルギー暦			不明
			行政管理(データ共有)	自己管理(ICカード)	従来通り	
全体		1166 100.0	157 15.6	568 56.5	281 27.9	160
Q 2 3 何 度 目	1回	221 100.0	22 11.6	107 56.3	61 32.1	31
	2～5回	388 100.0	60 18.5	186 57.2	79 24.3	63
	6～10回	140 100.0	18 14.6	77 62.6	28 22.8	17
	11～20回	164 100.0	16 11.5	83 59.7	40 28.8	25
	21回以上	230 100.0	36 17.3	107 51.4	65 31.3	22



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者はアレルギー暦の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということと、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。

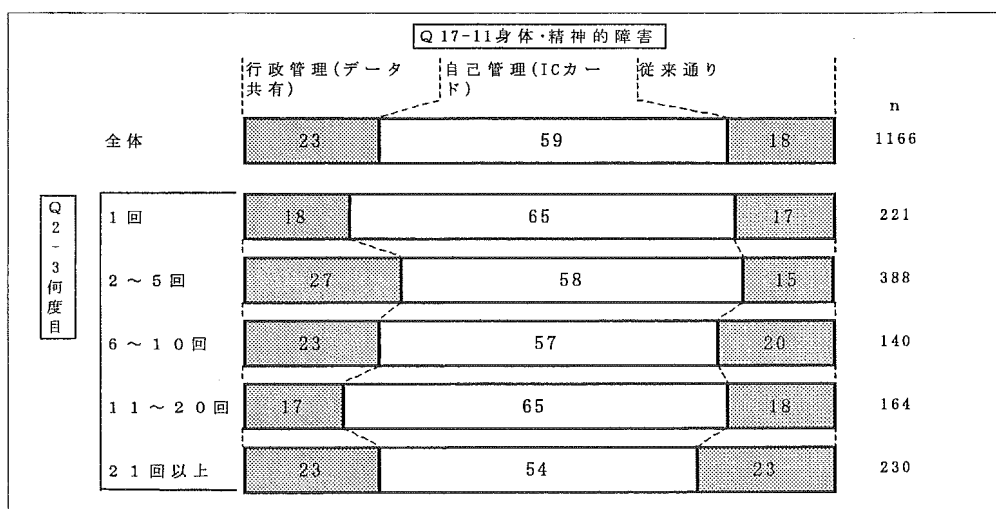
問 2-3 「その病院に行くのが何回目ですか」と問 17-11 「どのように身体・精神的障害の情報を管理したいか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように身体・精神的障害の情報を管理したいですか」

		合計	Q17-11身体・精神的障害			
			行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	232 23.1	592 58.8	182 18.1	160
Q 2 3 何 度 目	1回	221 100.0	34 17.9	124 65.3	32 16.8	31
	2～5回	388 100.0	89 27.4	187 57.5	49 15.1	63
	6～10回	140 100.0	29 23.4	70 56.5	25 20.2	16
	11～20回	164 100.0	24 17.3	90 64.7	25 18.0	25
	21回以上	230 100.0	47 22.7	113 54.6	47 22.7	23



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者は身体・精神的障害の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということと、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。

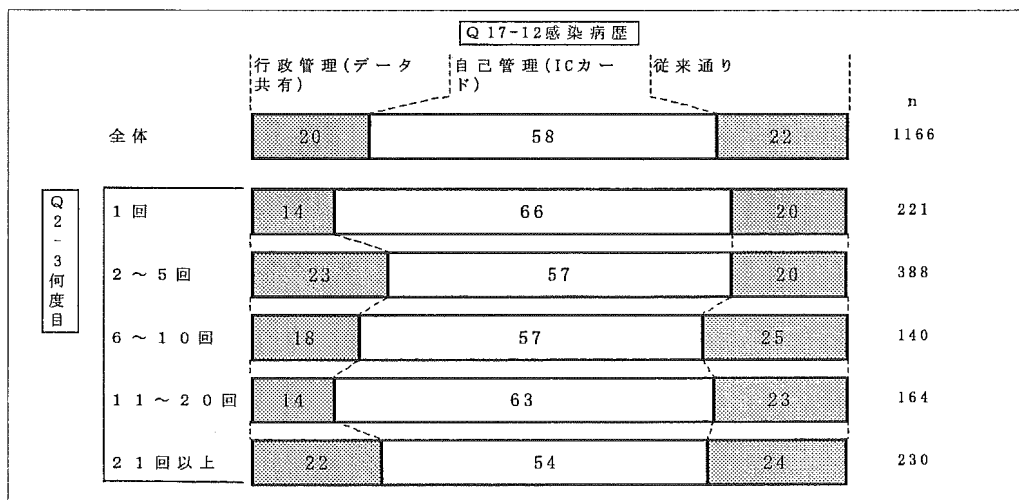
問 2-3 「その病院に行くのが何回目ですか」と問 17-12 「どのように感染病歴の情報を管理したいか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように自分の感染病歴の情報を管理したいですか」

		合計	Q 17-12 感染病歴			不明
			行政管理(データ共有)	自己管理(ICカード)	従来通り	
全体		1166 100.0	196 19.5	588 58.6	220 21.9	162
Q 2 3 何 度 目	1 回	221 100.0	27 14.2	125 65.8	38 20.0	31
	2 ~ 5 回	388 100.0	76 23.4	183 56.3	66 20.3	63
	6 ~ 10 回	140 100.0	22 17.7	71 57.3	31 25.0	16
	11 ~ 20 回	164 100.0	19 13.9	86 62.8	32 23.4	27
	21 回以上	230 100.0	45 21.7	113 54.6	49 23.7	23



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者は感染病歴の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということと、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。

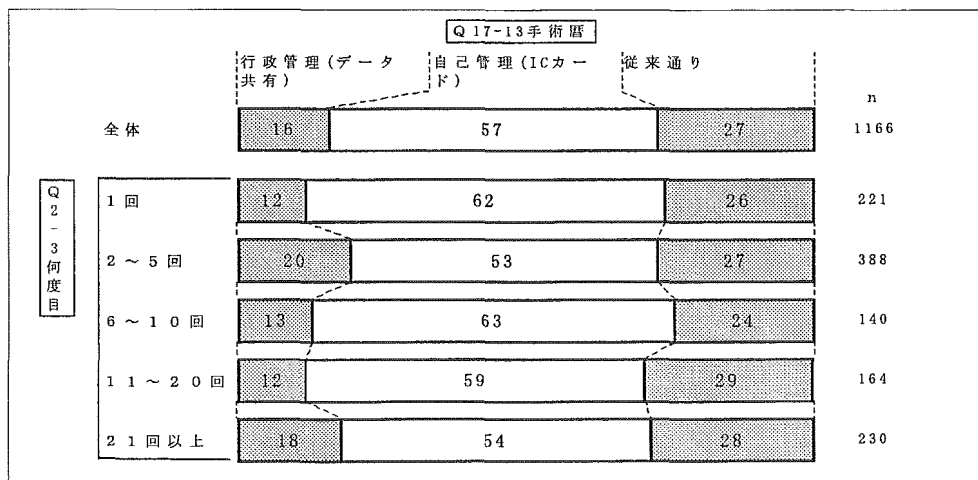
問 2-3 「その病院に行くのが何回目ですか」と問 17-13 「どのように手術暦の情報を管理したいか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように自分の手術暦の情報を管理したいですか」

		合計	Q17-13手術暦			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	165 16.4	568 56.4	274 27.2	159
Q 2 3 何 度 目	1 回	221 100.0	23 12.1	117 61.6	50 26.3	31
	2～5 回	388 100.0	65 20.0	173 53.2	87 26.8	63
	6～10 回	140 100.0	16 12.9	78 62.9	30 24.2	16
	11～20 回	164 100.0	17 12.2	81 58.3	41 29.5	25
	21 回以上	230 100.0	37 17.8	112 53.8	59 28.4	22



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者は手術暦の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということと、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。

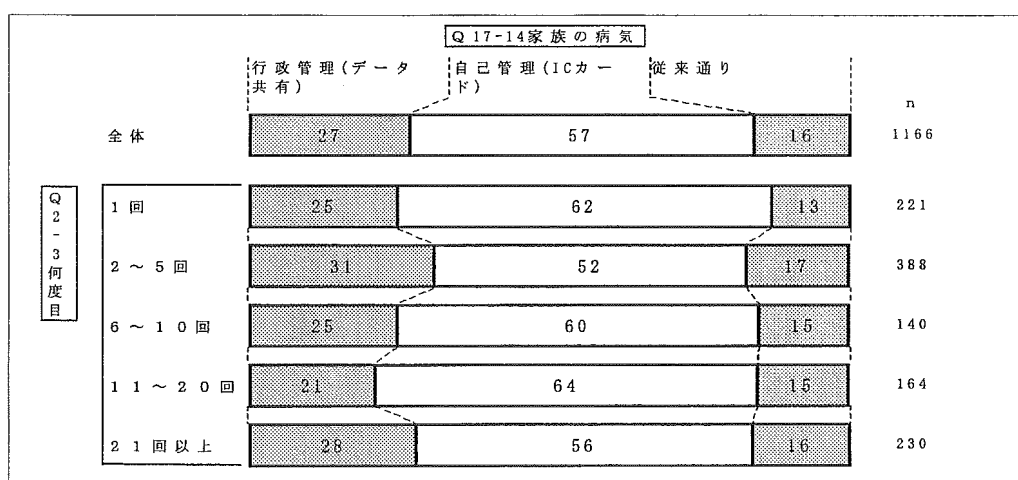
問 2-3 「その病院に行くのが何回目ですか」と問 17-14 「どのように家族の病気の情報を管理したいか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように自分の家族の病気の情報を管理したいですか」

		合計	Q 17-14 家族の病気			不明
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	
全体		1166 100.0	274 27.3	574 57.1	157 15.6	161
Q 2 3 何 度 目	1 回	221 100.0	48 25.3	117 61.6	25 13.2	31
	2 ~ 5 回	388 100.0	100 30.9	169 52.2	55 17.0	64
	6 ~ 10 回	140 100.0	31 25.0	75 60.5	18 14.5	16
	11 ~ 20 回	164 100.0	29 21.0	88 63.8	21 15.2	26
	21 回以上	230 100.0	58 27.9	116 55.8	34 16.3	22



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者は家族の病気の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということと、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。

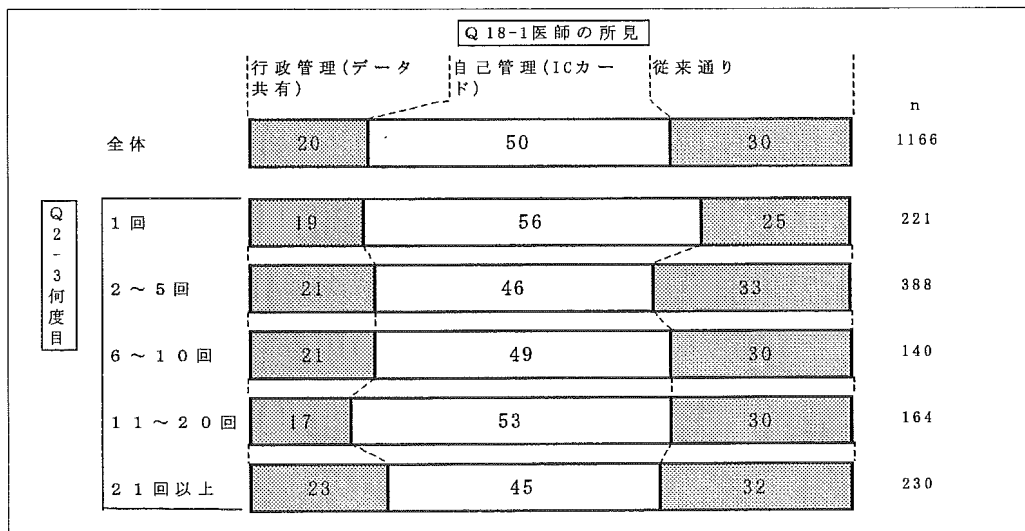
問 2-3「その病院に行くのが何回目ですか」と問 18-1「どのように医師の所見の情報を管理したいか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように自分の医師の所見の情報を管理したいですか」

		合計	Q18-1医師の所見			
			行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	
全体		1166 100.0	232 20.3	563 49.3	347 30.4	24
Q 2 3 何 度 目	1回	221 100.0	42 19.4	120 55.3	55 25.3	4
	2～5回	388 100.0	78 20.5	177 46.6	125 32.9	8
	6～10回	140 100.0	29 21.3	66 48.5	41 30.1	4
	11～20回	164 100.0	27 16.7	86 53.1	49 30.2	2
	21回以上	230 100.0	52 23.1	102 45.3	71 31.6	5



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者は病歴における医師の所見の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということと、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。

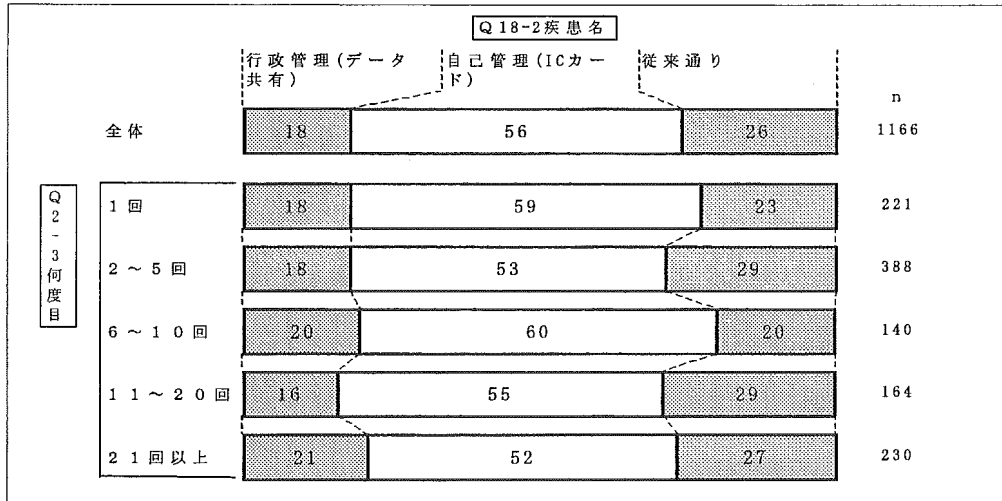
問 2-3 「その病院に行くのが何回目ですか」と問 18-2 「どのように疾患名の情報を管理した
 いか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように自分の疾患名の情報を管理したいですか」

		合計	Q18-2疾患名			
			行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	209 18.4	629 55.3	299 26.3	29
Q 2 3 何 度 目	1回	221 100.0	38 17.8	126 58.9	50 23.4	7
	2～5回	388 100.0	67 17.7	202 53.4	109 28.8	10
	6～10回	140 100.0	27 19.9	82 60.3	27 19.9	4
	11～20回	164 100.0	26 16.1	89 55.3	46 28.6	3
	21回以上	230 100.0	48 21.2	117 51.8	61 27.0	4



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者は病歴における疾患名の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということと、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。

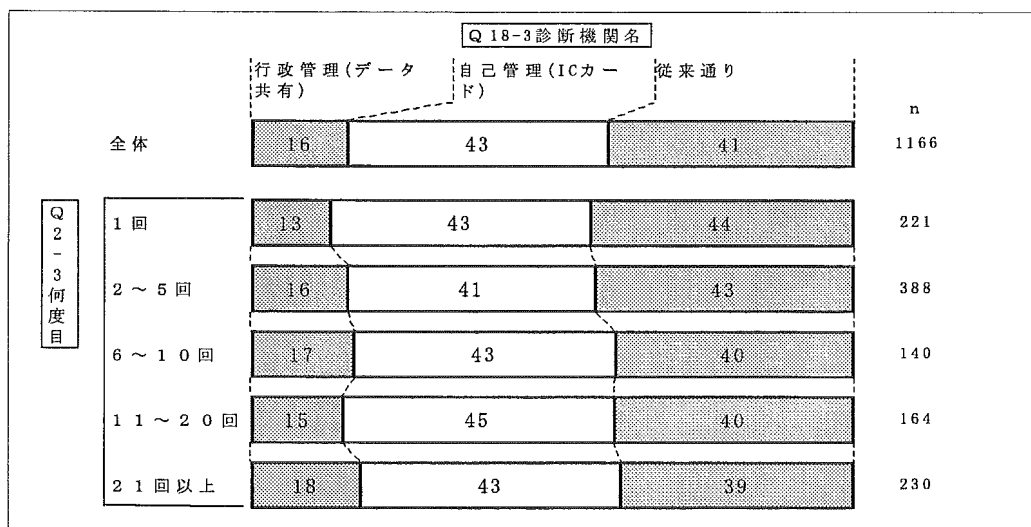
問 2-3「その病院に行くのが何回目ですか」と問 18-3「どのように診断機関名の情報を管理したいか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように自分の診断機関名の情報を管理したいですか」

		合計	Q18-3診断機関名			
			行政管理(データ共有)	自己管理(ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	184 16.1	486 42.5	473 41.4	23
Q 2 3 何 度 目	1回	221 100.0	28 12.9	94 43.3	95 43.8	4
	2～5回	388 100.0	62 16.3	155 40.7	164 43.0	7
	6～10回	140 100.0	23 17.0	58 43.0	54 40.0	5
	11～20回	164 100.0	24 14.9	72 44.7	65 40.4	3
	21回以上	230 100.0	41 18.1	98 43.2	88 38.8	3



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理と従来どおりがほぼ同じ割合で多くなっている。これより、病歴における診断機関名の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えている患者もいるが、現状に不満を持っていない患者や、診断機関名の情報を共有してもサービスの向上につながらないのではと考えている患者もいるのではと考えられる。

問 2-3「その病院に行くのが何回目ですか」と問 18-4「どのように診断医師名の情報を管理したいか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように自分の診断医師名の情報を管理したいですか」

		合計	Q 18-4 診断医師名			
			行政管理(データ共有)	自己管理(ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	204 17.9	467 41.0	469 41.1	26
Q 2 3 何 度 目	1 回	221 100.0	31 14.4	90 41.7	95 44.0	5
	2 ~ 5 回	388 100.0	74 19.4	151 39.6	156 40.9	7
	6 ~ 10 回	140 100.0	26 19.3	54 40.0	55 40.7	5
	11 ~ 20 回	164 100.0	27 16.8	70 43.5	64 39.8	3
	21 回以上	230 100.0	41 18.1	95 41.9	91 40.1	3

		Q 18-4 診断医師名			n
		行政管理(データ共有)	自己管理(ICカード)	従来通り	
全体		18	41	41	1166
Q 2 - 3 何 度 目	1 回	14	42	44	221
	2 ~ 5 回	19	40	41	388
	6 ~ 10 回	19	40	41	140
	11 ~ 20 回	17	43	40	164
	21 回以上	18	42	40	230

<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理と従来どおりがほぼ同じ割合で多くなっている。これより、病歴における診断医師名の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えている患者もいるが、現状に不満を持っていない患者や、診断医師名の情報を共有してもサービスの向上につながらないのではと考えている患者もいるのではと考えられる。

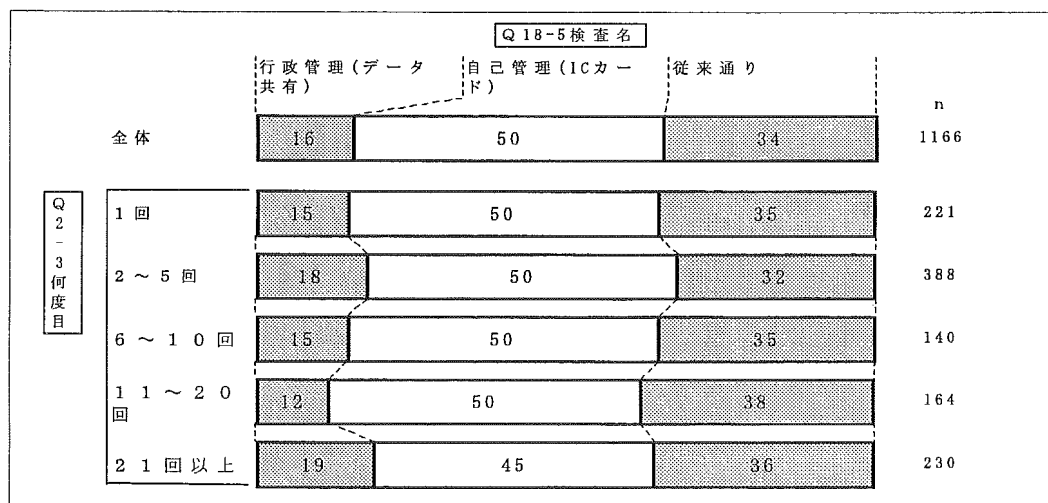
問 2-3「その病院に行くのが何回目ですか」と問 18-5「どのように検査名の情報を管理した
 いか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように検査名の情報を管理したいですか」

		合計	Q18-5検査名			
			行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	186 16.3	563 49.3	394 34.5	23
Q 2 3 何 度 目	1 回	221 100.0	32 14.7	109 50.2	76 35.0	4
	2 ~ 5 回	388 100.0	67 17.6	191 50.1	123 32.3	7
	6 ~ 10 回	140 100.0	20 14.7	69 50.7	47 34.6	4
	11 ~ 20 回	164 100.0	20 12.4	80 49.7	61 37.9	3
	21 回以上	230 100.0	42 18.5	104 45.8	81 35.7	3



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者は病検査名の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということと、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。

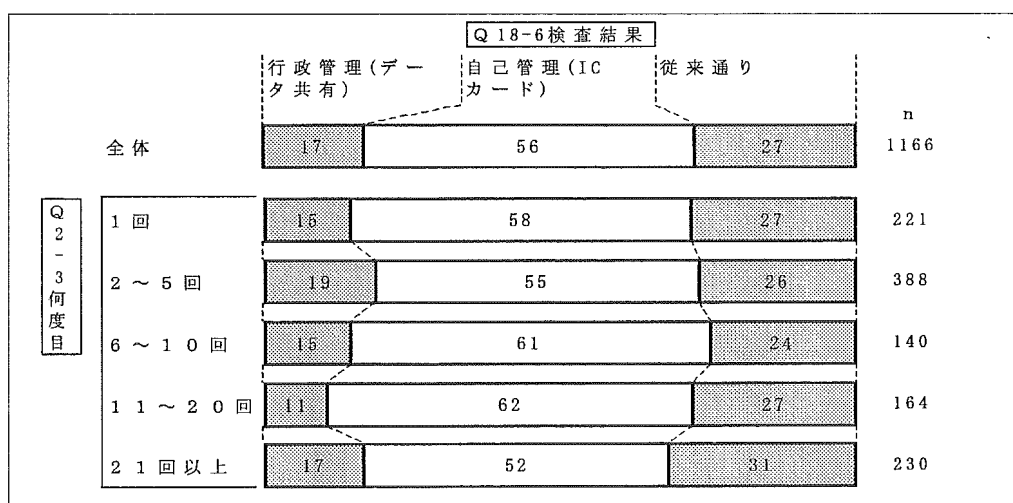
問 2-3「その病院に行くのが何回目ですか」と問 18-6「どのように検査結果の情報を管理したいか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように検査結果の情報を管理したいですか」

		合計	Q 18-6検査結果			不明
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	
全体		1166 100.0	189 16.5	645 56.4	310 27.1	22
Q 2 3 何 度 目	1 回	221 100.0	32 14.7	126 58.1	59 27.2	4
	2 ~ 5 回	388 100.0	72 18.9	210 55.1	99 26.0	7
	6 ~ 10 回	140 100.0	21 15.4	83 61.0	32 23.5	4
	11 ~ 20 回	164 100.0	18 11.2	100 62.1	43 26.7	3
	21 回以上	230 100.0	39 17.2	117 51.5	71 31.3	3



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者は検査結果の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということと、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。

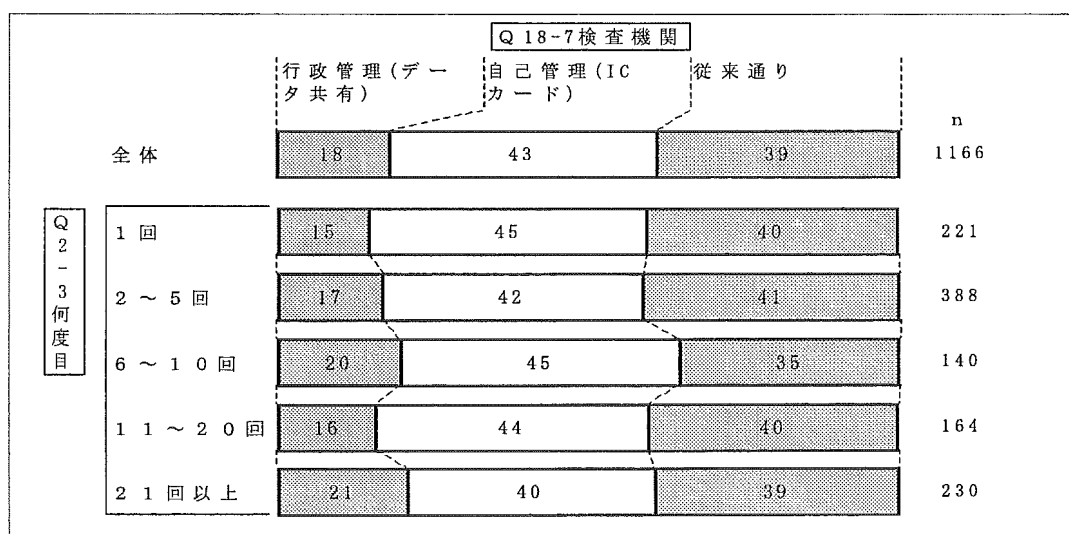
問 2-3「その病院に行くのが何回目ですか」と問 18-7「どのように検査機関の情報を管理したいか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように検査機関の情報を管理したいですか」

		合計	Q18-7検査機関			
			行政管理(データ共有)	自己管理(ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	203 17.8	487 42.8	448 39.4	28
Q 2 3 何 度 目	1回	221 100.0	32 14.7	98 45.2	87 40.1	4
	2～5回	388 100.0	66 17.5	157 41.5	155 41.0	10
	6～10回	140 100.0	27 19.9	61 44.9	48 35.3	4
	11～20回	164 100.0	25 15.5	72 44.7	64 39.8	3
	21回以上	230 100.0	47 21.0	89 39.7	88 39.3	6



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理と従来どおりがほぼ同じ割合で多くなっている。これより、検査機関名の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えている患者もいるが、現状に不満を持っていない患者や検査機関名の情報を共有してもサービスの向上につながらないのではと考えている患者もいるのではと考えられる。

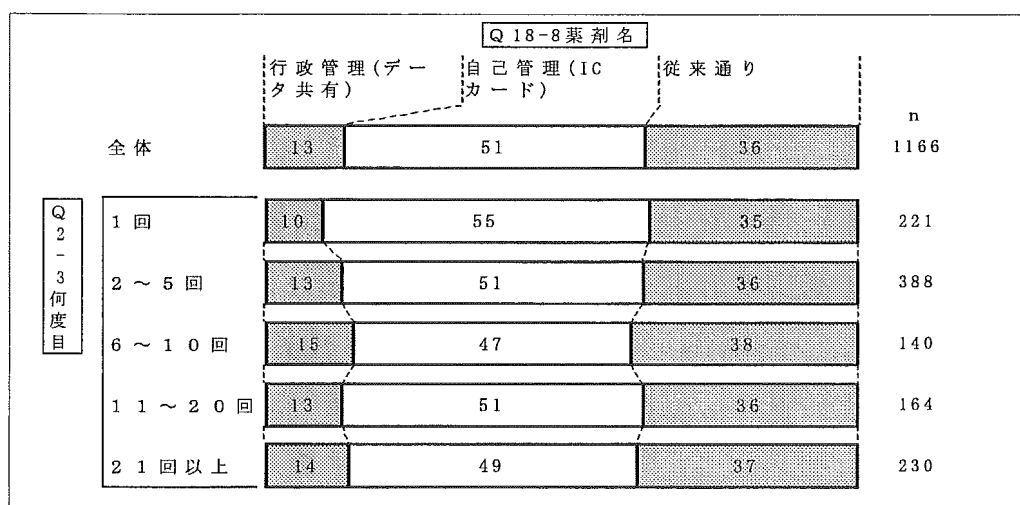
問 2-3 「その病院に行くのが何回目ですか」と問 18-8 「どのように薬剤名の情報を管理した
 いか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように薬剤名の情報を管理したいですか」

		合計	Q 18-8 薬剤名			
			行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	151 13.2	578 50.7	412 36.1	25
Q 2 - 3 何 度 目	1 回	221 100.0	21 9.7	120 55.3	76 35.0	4
	2 ~ 5 回	388 100.0	51 13.4	192 50.5	137 36.1	8
	6 ~ 10 回	140 100.0	20 14.7	64 47.1	52 38.2	4
	11 ~ 20 回	164 100.0	21 13.0	82 50.9	58 36.0	3
	21 回以上	230 100.0	32 14.2	109 48.4	84 37.3	5



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者は薬剤名の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということと、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。

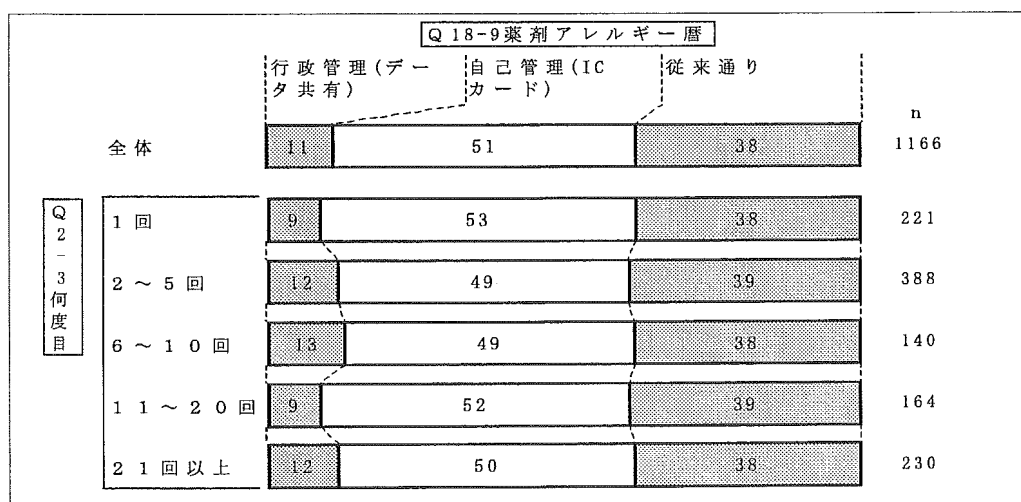
問 2-3「その病院に行くのが何回目ですか」と問 18-9「どのように薬剤アレルギー歴の情報を管理したいか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように薬剤アレルギー歴の情報を管理したいですか」

		合計	Q 18-9 薬剤アレルギー歴			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	129 11.3	577 50.7	433 38.0	27
Q 2 3 何 度 目	1 回	221 100.0	19 8.8	116 53.5	82 37.8	4
	2 ~ 5 回	388 100.0	47 12.4	186 48.9	147 38.7	8
	6 ~ 10 回	140 100.0	18 13.2	67 49.3	51 37.5	4
	11 ~ 20 回	164 100.0	14 8.8	83 52.2	62 39.0	5
	21 回以上	230 100.0	27 11.9	114 50.4	85 37.6	4



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理が最も多くなっている。これより、患者は薬剤アレルギー歴の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えているということと、個人で管理したいと考えているのではと考えられる。

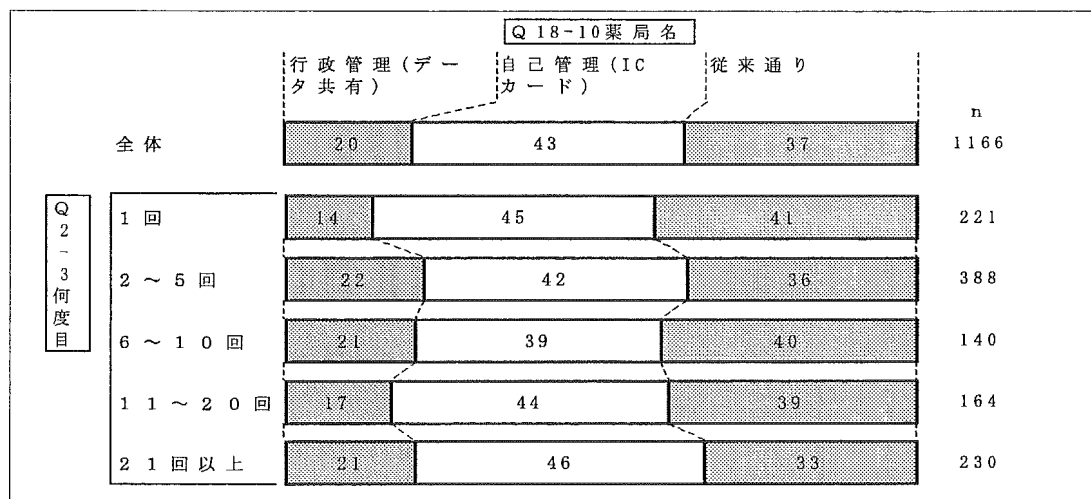
問 2-3 「その病院に行くのが何回目ですか」と問 18-10 「どのように薬局名の情報を管理したいか」のクロス集計分析

質問方法：

「その病院に行くのが何回目ですか」

「どのように薬局名の情報を管理したいですか」

		合計	Q 18-10 薬局名				
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り		不明
全体		1166	222	492	422	30	
		100.0	19.5	43.3	37.1		
Q 2 3 何 度 目	1 回	221	31	97	89	4	
			100.0	14.3	44.7	41.0	
	2 ~ 5 回	388	83	161	136	8	
			100.0	21.8	42.4	35.8	
	6 ~ 10 回	140	28	52	53	7	
			100.0	21.1	39.1	39.8	
11 ~ 20 回	164	27	71	62	4		
		100.0	16.9	44.4	38.8		
21 回以上	230	48	103	74	5		
		100.0	21.3	45.8	32.9		



<考察>

最近診察を受けに行った病院に今まで行った回数に関係なく、同じような傾向が出ており、自己管理と従来どおりがほぼ同じ割合で多くなっている。これより、検査機関名の情報について個人で管理するのがメリットとデメリットの差が大きいと考えている患者もいるが、現状に不満を持っていない患者や検査機関名の情報を共有してもサービスの向上につながらないのではと考えている患者もいるのではと考えられる。

また、回数が 21 回以上において自己管理の割合が従来通りより大きく上回った。回数が多い患者はそれだけ薬局を使用する回数も多いと考えられ、そういった患者が現状よりも自己管理のほうが良いと考えているので、現状には何らかの問題点があるのではないかと考えられる。

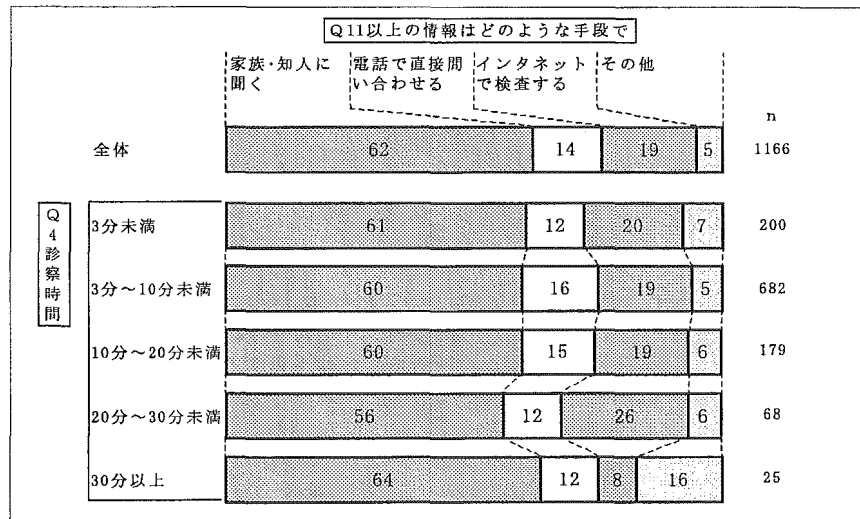
問 4 「診察時間」と問 11 「情報を手に入れる手段」のクロス集計分析

質問方法：

「診察時間はどの程度でしたか」

「情報をあなたは今まで主にどのような手段で手に入れていますか」

		合計	Q11以上の情報はどのような手段で				不明
			家族・知人に聞く	電話で直接問い合わせる	インターネットで検査する	その他	
全体		1166 100.0	706 61.0	165 14.3	223 19.3	63 5.4	9
Q 4 診察時間	3分未満	200 100.0	124 62.3	23 11.6	39 19.6	13 6.5	1
	3分～10分未満	682 100.0	411 60.8	105 15.5	128 18.9	32 4.7	6
	10分～20分未満	179 100.0	109 60.9	26 14.5	34 19.0	10 5.6	0
	20分～30分未満	68 100.0	38 55.9	8 11.8	18 26.5	4 5.9	0
	30分以上	25 100.0	16 64.0	3 12.0	2 8.0	4 16.0	0



<考察>

まず、「診察時間」における総計の値を比較してみると、3分～10分未満が全体の6割近くを占め、次いで3分未満と10分～20分未満が2割弱となった。これは、軽い症状の診察は簡単な問診と薬の説明程度で済むことを示していると考えられる。

次に、「情報を手に入れる手段」における総計の値を比較してみると、約6割の患者は家族・知人に聞くとしており、病院に関する情報は「口コミ」に頼ることが分かった。インターネットで検索したり、電話で問い合わせる人はあまり一般的ではないことが分かる。

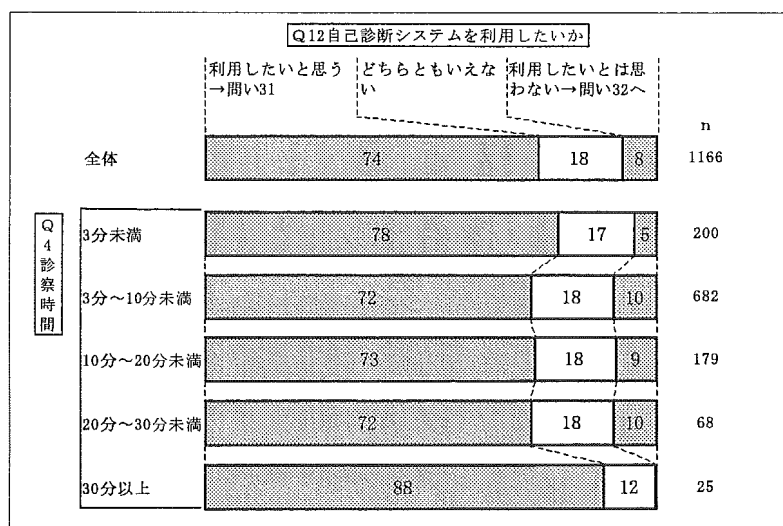
「診察時間」ごとの「情報を手に入れる手段」の違いについては30分以上の場合に家族・知人に聞く割合が他の診察時間の場合に比べて高くなると同時に、インターネットで検索する割合が他の診察時間の場合に比べて大幅に少なくなった。より身近な人から正確な情報を収集しようとする傾向が現れていると考えられる。

問 4「診察時間」と問 12「自己診断ができる仕組みを利用したいと思うか」のクロス集計分析

質問方法：「診察時間はどの程度でしたか」

「あなたは病状をインターネットで自己診断ができる仕組みを利用したいと思いますか」

		合計	Q12自己診断システムを利用したい			不明
			利用したいと思う →問13	どちらともいえない	利用したいとは思わない →問14へ	
全体		1166 100.0	858 73.9	205 17.7	98 8.4	5
Q 診察時間	3分未満	200 100.0	157 78.5	33 16.5	10 5.0	0
	3分～10分未満	682 100.0	495 72.9	119 17.5	65 9.6	3
	10分～20分未満	179 100.0	130 72.6	33 18.4	16 8.9	0
	20分～30分未満	68 100.0	49 72.1	12 17.6	7 10.3	0
	30分以上	25 100.0	22 88.0	3 12.0	0 0.0	0



<考察>

まず、「診察時間」における総計の値を比較してみると、3分～10分未満が全体の6割近くを占め、次いで3分未満と10分～20分未満が2割弱となった。これは、軽い症状の診察は簡単な問診と薬の説明程度で済むことを示していると考えられる。

次に、「自己診断ができる仕組みを利用したいと思うか」における総計の値を比較してみると、全体の4分の3近い患者は利用したいという意見があり、今後簡単に自己診断ができるシステムの需要が高まっていくものと予想される。

「診察時間」ごとの「自己診断ができる仕組みを利用したいと思うか」の違いについては、いずれの診察時間においても利用したいと思う患者が全体の7割を超えており、診察時間を問わず必要性が問われていることが分かった。特に、30分以上の場合は、利用したいと思う割合が高く、重い病気の場合におけるシステム整備が特に急務とされている。